３．中寺展望台・柞野／江畑道導入部整備

（１）造成計画

① 史跡指定範囲中で最も展望が良く、満濃池、象頭山をはじめ香川県の平野部ほぼすべてが一望でき東屋程度の平場が確保できること、霊峰大川山の雄姿を間近に眺望することができ、なぜ中寺廃寺がここに位置したか体感できる場所であること、柞野・江畑からの導入部であり、登山者の休憩所として時間的、距離的に適していることなどから展望台としての東屋を設置する。

② 東屋内東・西・北の三方に景観案内板（縦 0.4m×横 0.7m）を設置する。

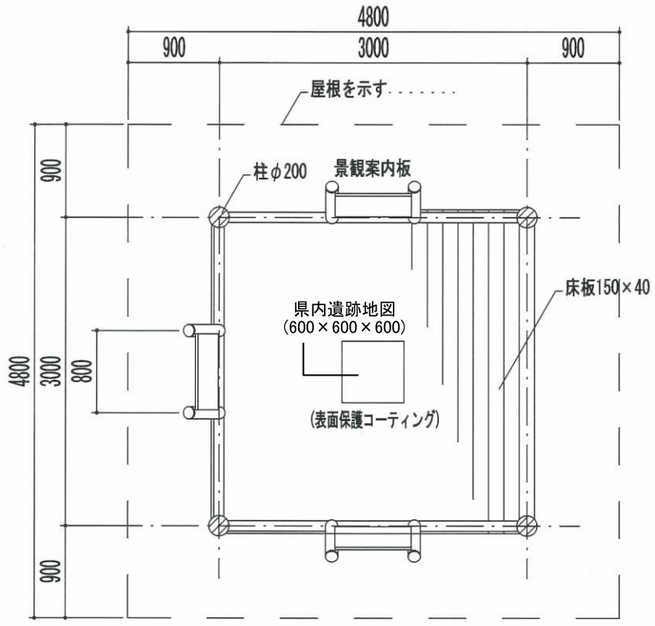
③ 東屋中央に県内遺跡地図（0.6m×0.6m）を設置する。

④ 東屋内にパンフレット入れを取り付け「中寺廃寺跡パンフレット」を常備しておく。

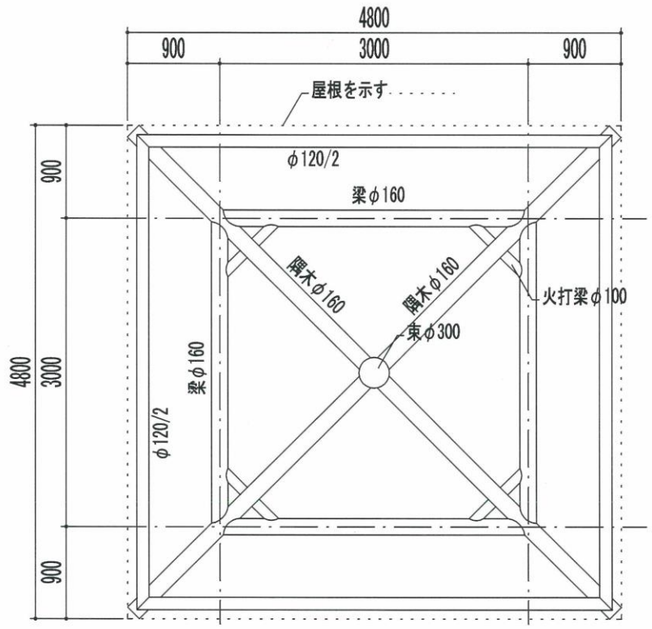
⑤ 東屋設置予定地はＡ地区第 12 テラス史跡指定範囲外部分である。調査区南部で遺構が確認されているため、建築予定地点を調査区北部とし、遺構の保全を図る。（まんのう町内遺跡発掘調査報告書第７集中寺廃寺跡平成 21 年度Ｐ６参照）

⑥ 間口、奥行とも 3.0mの防腐処理を施した木造（自然色）とする。

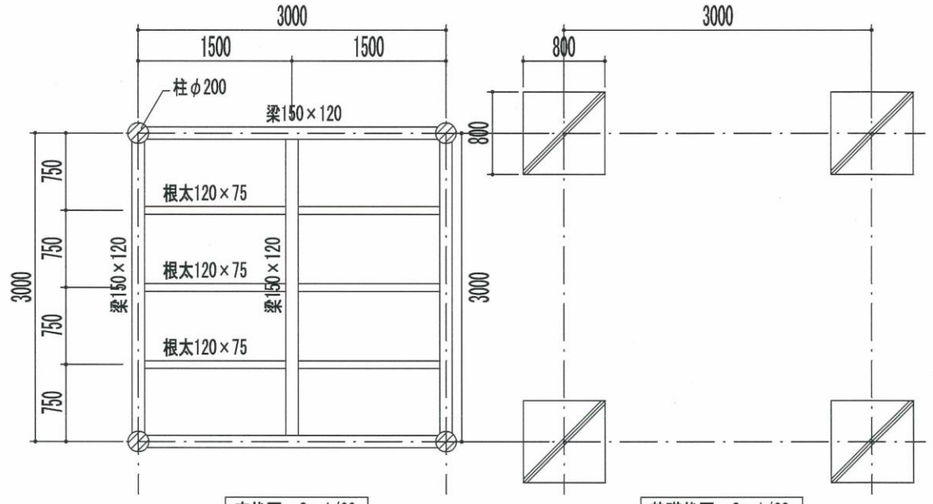
⑦ 東屋横に固定式ベンチを設置する。



平面図　S=1/60

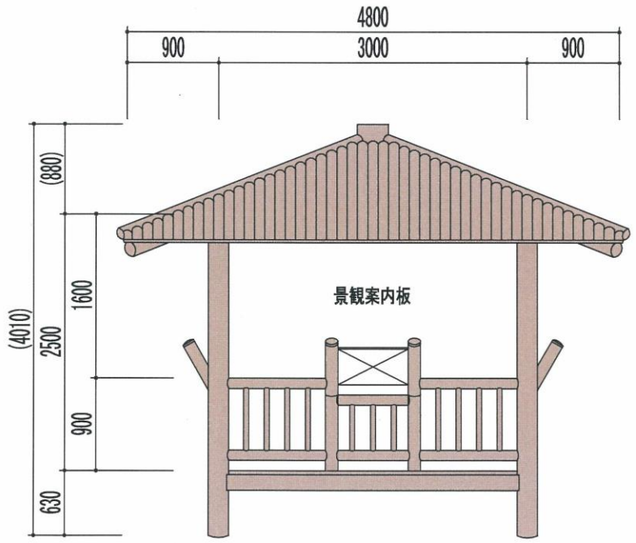


小屋伏図　S=1/60

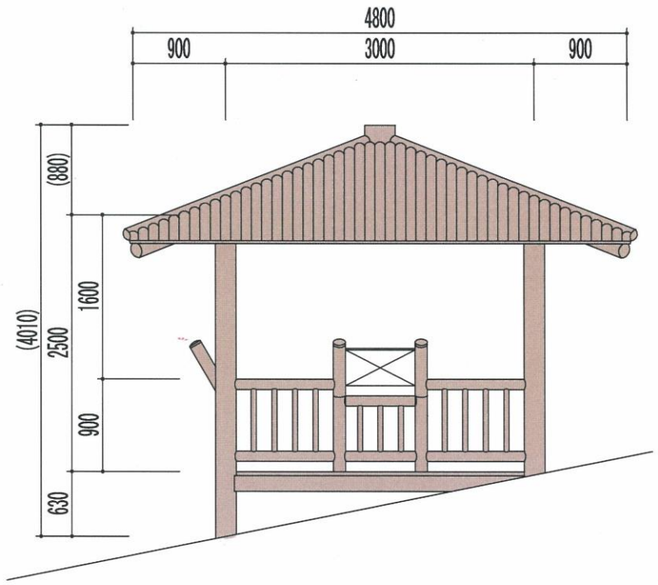


床伏図　S=1/60

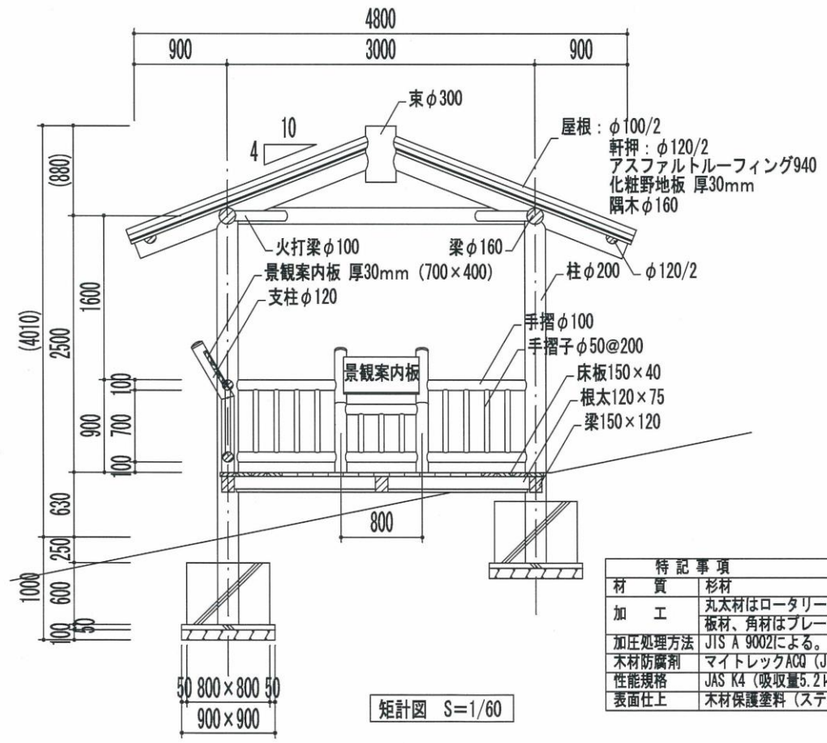
基礎伏図　S=1/60



立面図　S=1/60



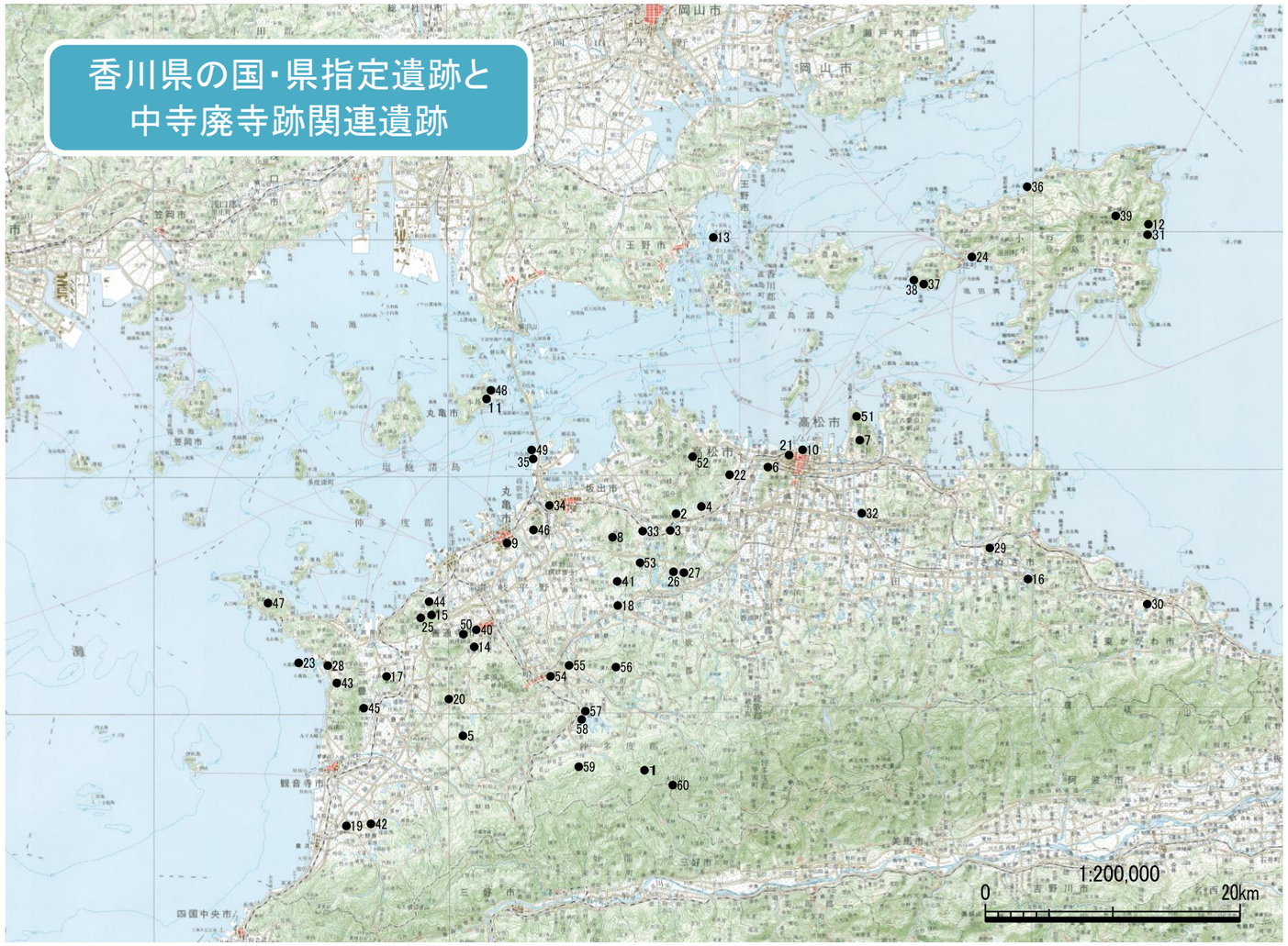
立面図　S=1/60



矩計図　S=1/60

特記事項	
材　質	杉材
加　工	丸太材はロータリー加工とする。
	板材、角材はプレーナー加工とする。
加圧処理方法	JIS A 9002による。
木材防腐剤	マイトレックACQ（JIS K 1570該当）とする。
性能規格	JAS K4（吸収量5.2kg/m3以上）
表面仕上	木材保護塗料（ステンプルーフ）塗布

第39図　①東屋 構造図



番号	区分	名称	番号	区分	名称	番号	区分	名称
1	史跡	中寺廃寺跡	19	県指定史跡	椀貸塚、角塚及び平塚	40	県指定史跡	善通寺旧境内
2	特別史跡	讃岐国分寺跡	20	県指定史跡	歓喜院内の瓦窯跡	41	県指定史跡	陣の丸古墳
3	史跡	府中山内瓦窯跡	21	県指定史跡	生駒親正夫妻墓所	42	県指定史跡	赤岡山古墳
4	史跡	讃岐国分尼寺跡	22	県指定史跡	今岡古墳	43	県指定史跡	南草木遺跡
5	史跡	二ノ宮窯跡	23	県指定史跡	小鳶島貝塚	44	県指定史跡	盛土山古墳
6	史跡	石清尾山古墳群	24	県指定史跡	富丘古墳群	45	県指定史跡	興隆寺跡石塔群
7	史跡	屋島	25	県指定史跡	弥谷寺信仰遺跡	46	県指定史跡	青ノ山一号窯跡
8	史跡	城山	26	県指定史跡	ますえ畑瓦窯跡　2基	47	県指定史跡	紫雲出山遺跡
9	史跡	丸亀城跡	27	県指定史跡	すべつと窯跡	48	県指定史跡	笠島城跡
10	史跡	高松城跡	28	県指定史跡	辻の札場	49	県指定史跡	沙弥ナカンダ浜遺跡
11	史跡	塩飽勤番所跡	29	県指定史跡	吉金窯跡　2基	50	県指定史跡	香色山経塚群
		附　年寄宮本家の墓　10基	30	県指定史跡	白鳥廃寺跡	51	古代山林寺院	千間堂跡
		年寄入江四郎左衛門の墓　1基	31	県指定史跡	大坂城用残石及番屋七兵衛屋敷跡	52	古代山林寺院	中山廃寺
		年寄吉田彦右衛門の墓　1基	32	県指定史跡	高松市茶臼山古墳	53	古代山林寺院	横山廃寺
12	史跡	大坂城石垣石切丁場跡	33	県指定史跡	開法寺塔跡	54	町内古代寺院・神社	弘安寺廃寺
13	史跡	喜兵衛島製塩遺跡	34	県指定史跡	田尾茶臼山古墳	55	町内古代寺院・神社	佐岡寺跡
14	史跡	有岡古墳群　6基	35	県指定史跡	沙弥島千人塚	56	町内古代寺院・神社	金剛院経塚
15	史跡	天霧城跡	36	県指定史跡	大坂城石垣石切とび越丁場跡および小海残石群	57	町内古代寺院・神社	神野神社
16	史跡	富田茶臼山古墳	37	県指定史跡	大坂城石垣石切千軒丁場跡	58	町内古代寺院・神社	神野寺
17	史跡	宗吉瓦窯跡	38	県指定史跡	大坂城石垣石切小瀬原丁場跡	59	町内古代寺院・神社	尾背廃寺跡
18	史跡	快天山古墳	39	県指定史跡	星が城跡	60	町内古代寺院・神社	大川神社

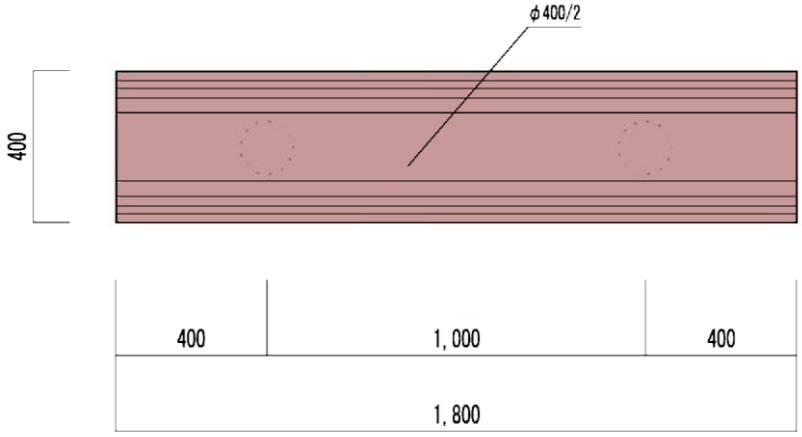
平成●年●月現在

60cm

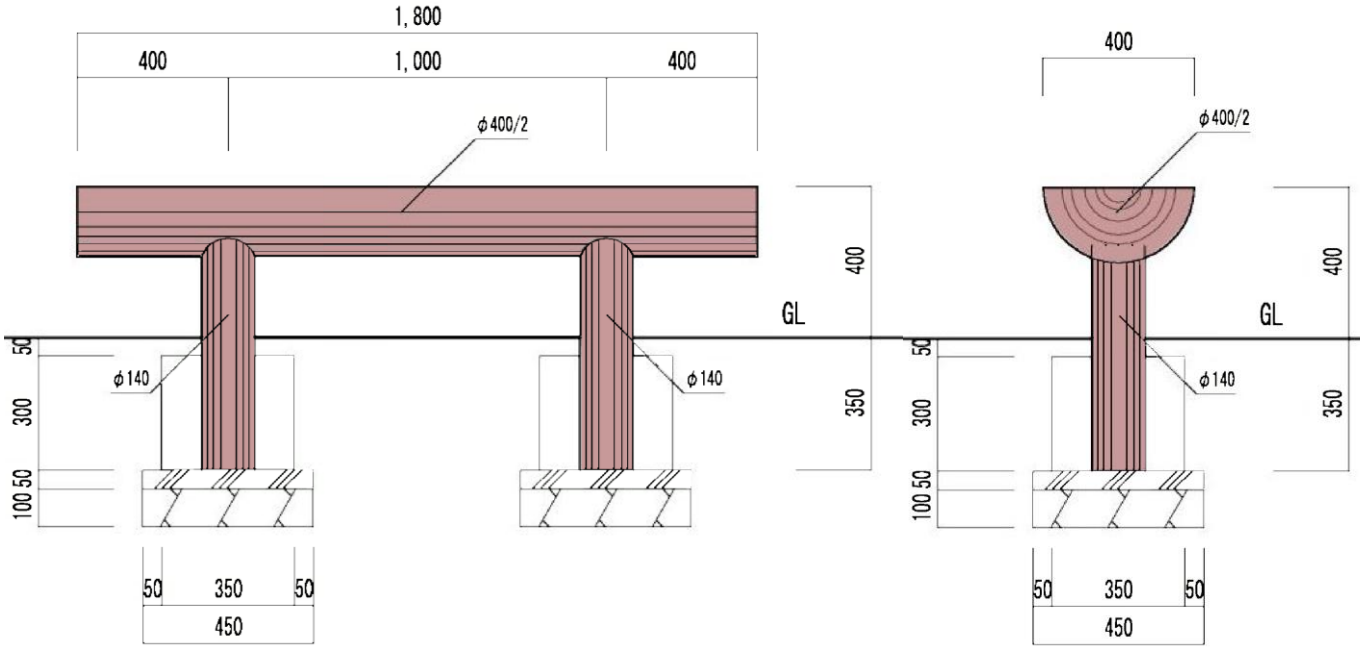
60cm

右図は実物の45%

第40図　県内遺跡地図 仕様



平面図 S=1:20



立面図 S=1:20

断面図 S=1:20

特 記 事 項	
材　　質	： 杉材
加　　工	： 丸太材はﾛｰﾀﾘｰ加工
加圧処理方法	： JIS A 9002による
木 材 防腐剤	： ﾏｲﾄﾚｯｸACQ（JIS K 1570該当）
表 面 仕 上	： 木材保護塗料（ｽﾃﾝﾌﾟﾙｰﾌ）塗布
（社）日本公園施設業協会賠償責任制度による、生産物賠償責任保険を適用する。	

第41図　⑤ベンチ 構造図

４．連絡地点・一時避難所整備

（１）造成計画

① 史跡中寺廃寺跡整備に伴い大川山登山者・見学者の増加が見込まれることと、登山者・見学者が急な天候の変化によって危険に晒された場合に備え、軽車両が進入できる最奥地点に待避スペースを伴うトイレを設置する。

② トイレは環境保護を啓蒙する目的と維持管理の容易さを考え、バイオ処理方式（おがくず＋微生物）とする。ただし冬場は登山者も減り、バイオ処理も困難となるためトイレは閉鎖する。

③ トイレ稼働期間は４月～11 月、閉鎖期間は 12 月～３月とする。

④ トイレ管理費用は年間約 10 万円を見込む。

⑤ 待避スペースに緊急連絡先を表示する。

⑥ 待避スペースにパンフレット入れを取り付け「中寺廃寺跡パンフレット」を常備しておく。

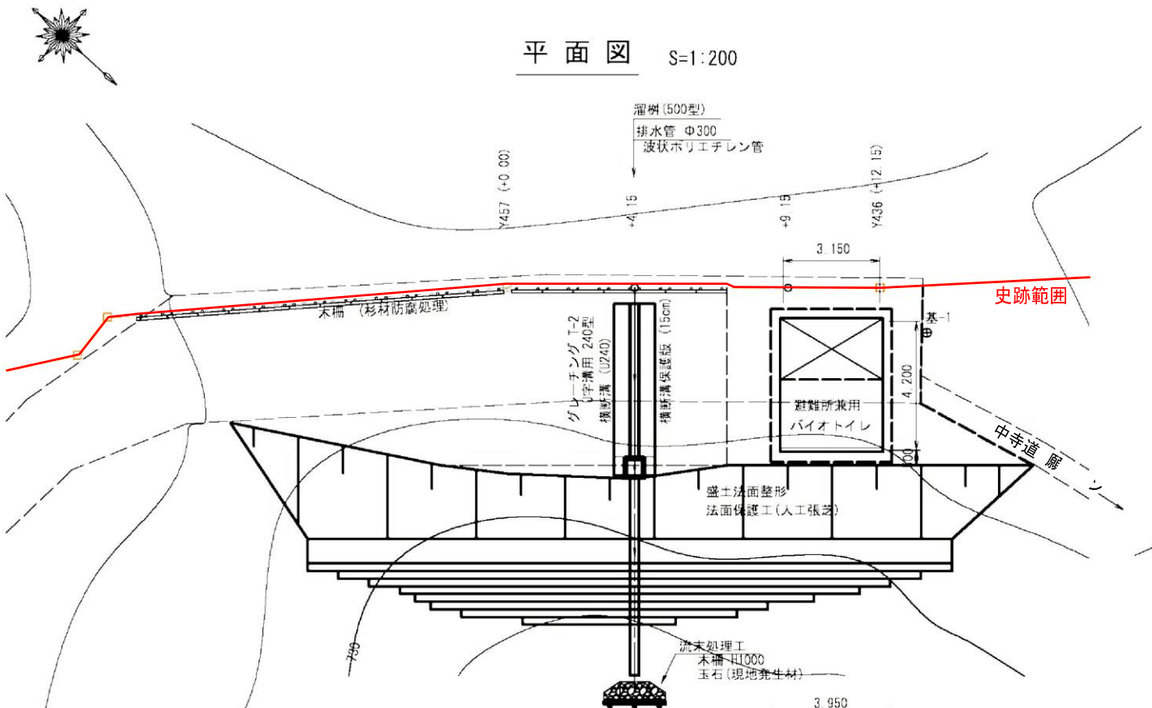
⑦ トイレ横に固定式ベンチを設置する。（→構造図 P101）

⑧ 現在利用している車回し場に上記施設を設置するため、代替の車回し場を造成する。

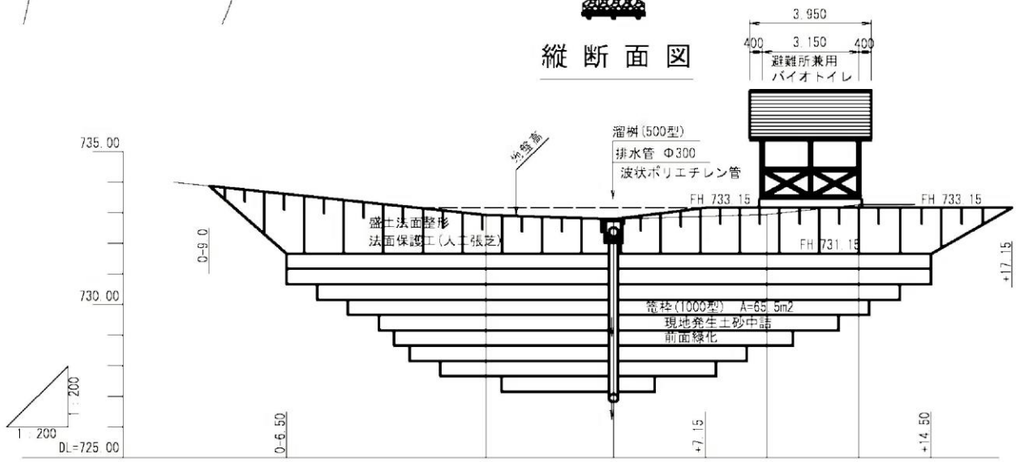
⑨ 造成工事概要は以下のとおりである。

	盛土	切土	フトン篭工	横断側溝	舗装工
種別	購入土	―	前面緑化	U240	クラッシャラン
合計	140 ㎥	30 ㎥	66 ㎡	1 箇所	100 ㎡

平面図 S=1:200



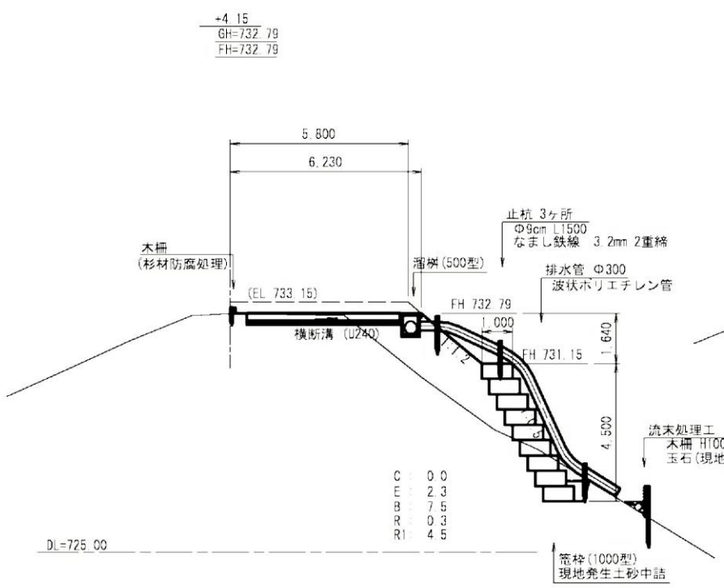
縦断面図

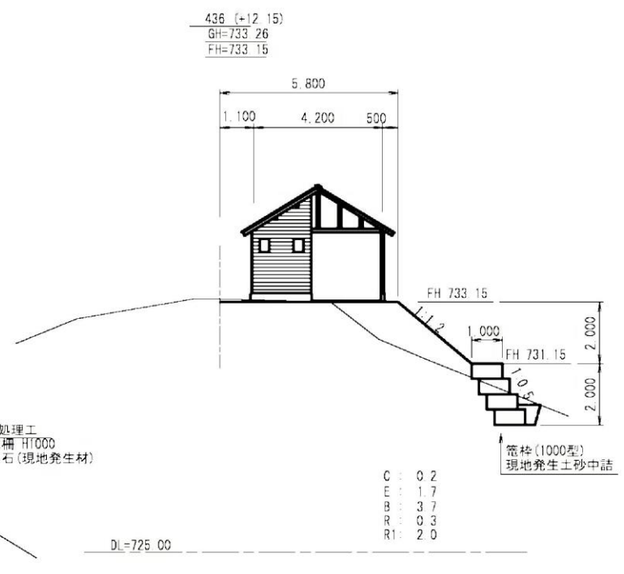


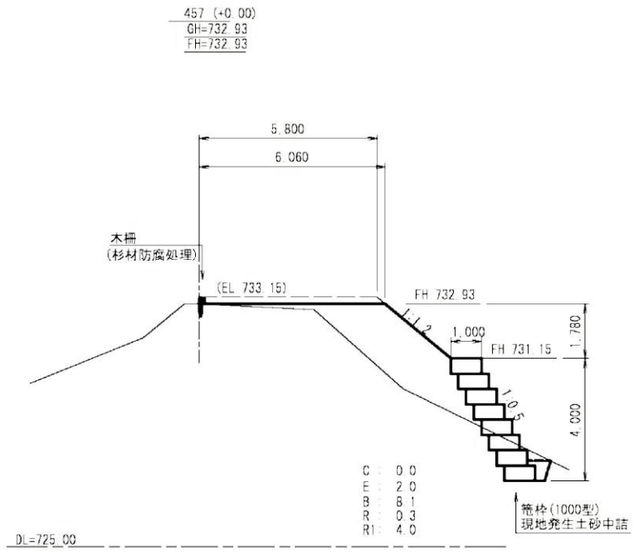
勾配				
盛高				
切高				
計画高				
地盤高	732.93	732.79	732.95	733.26
追加距離	0.00	4.15	9.15	12.15
点間距離	0.00	4.15	5.00	3.00
測点	457	+4.15	+9.15	436

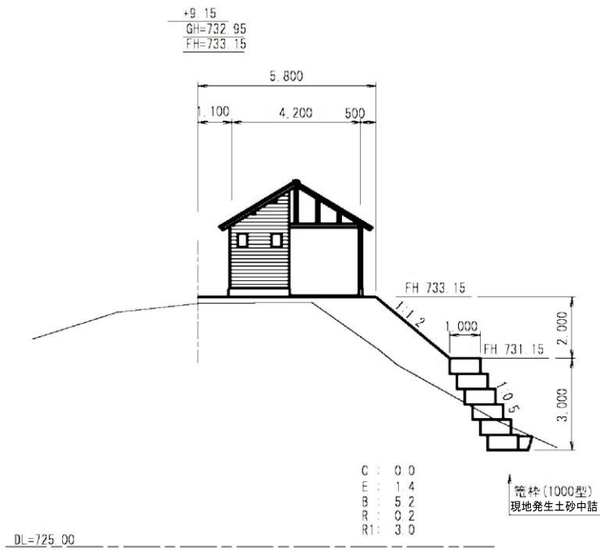
※法面保護工(人工張芝)はニホンシバに限る

横断面図 S=1:200



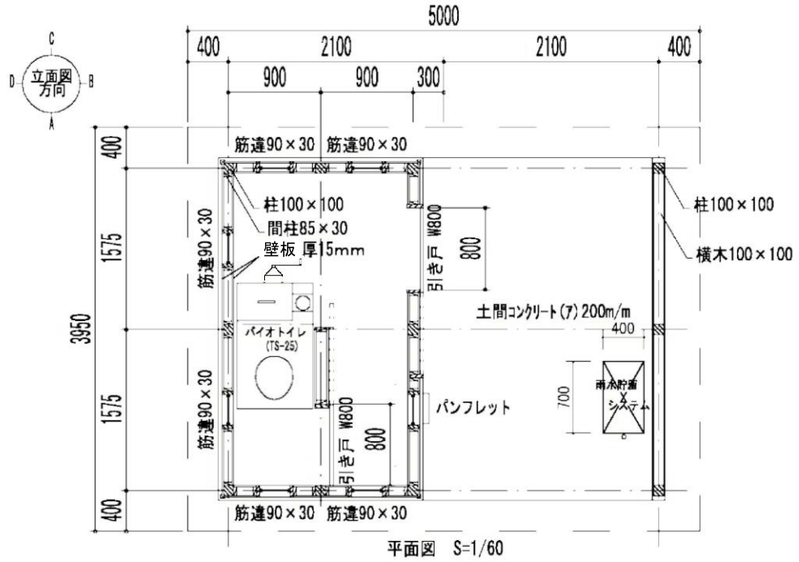




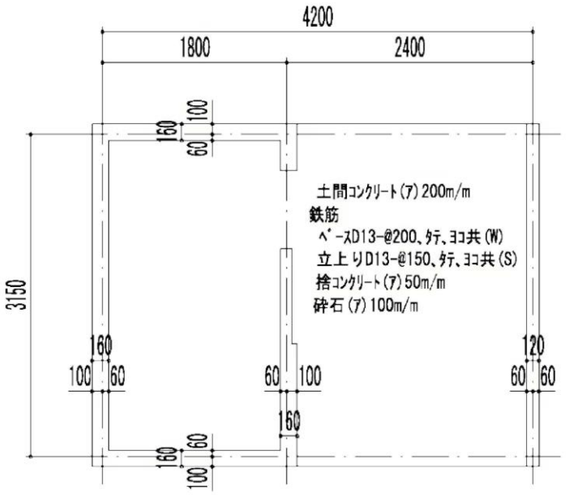


C	切土	1	m3
E	床堀	31	〃
B	盛土	139	〃
R	埋戻	5	〃
R1	中詰土	64	〃
計	不足土	176	m3

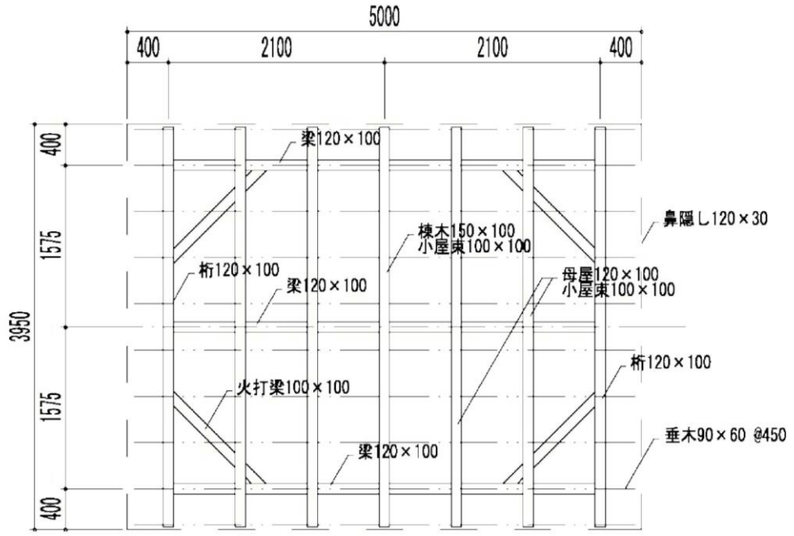
第42図　連絡地点・一時避難所 造成計画図



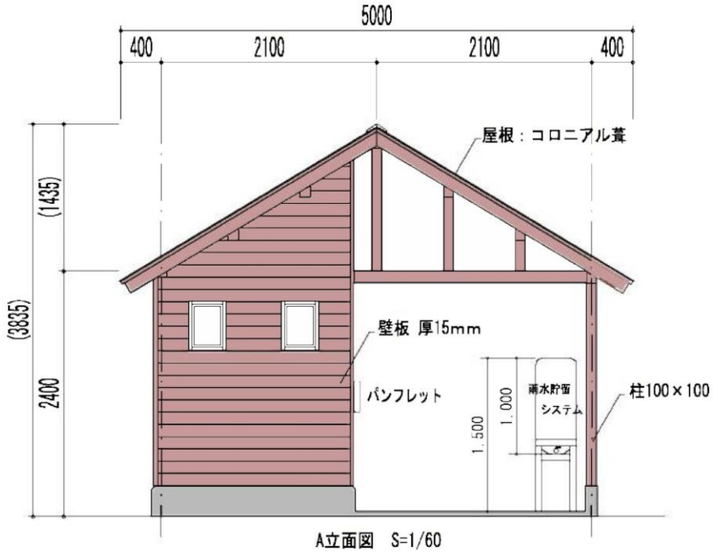
平面図　S=1/60



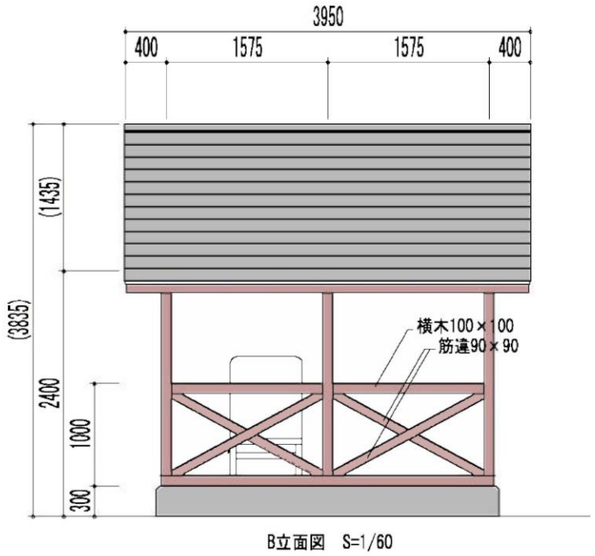
基礎伏図　S=1/60



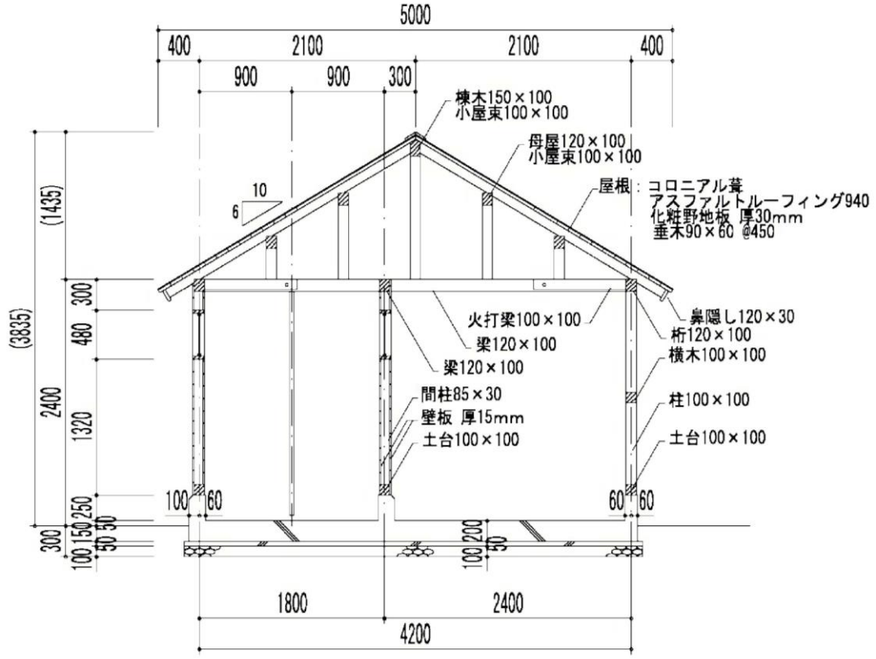
小屋伏図　S=1/60



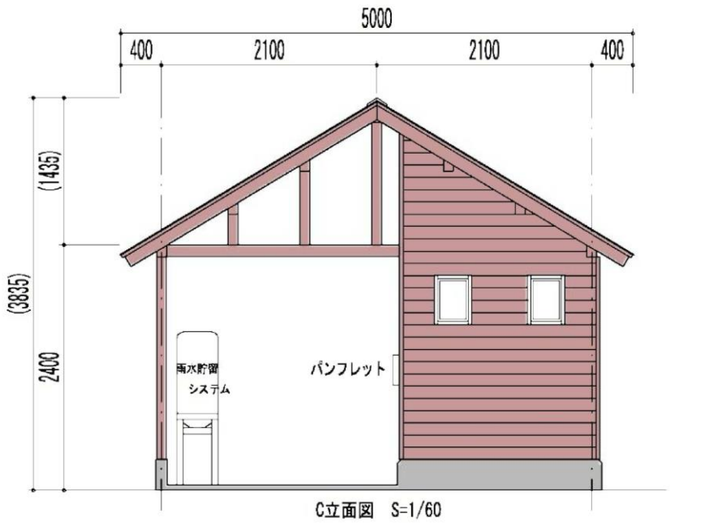
A立面図　S=1/60



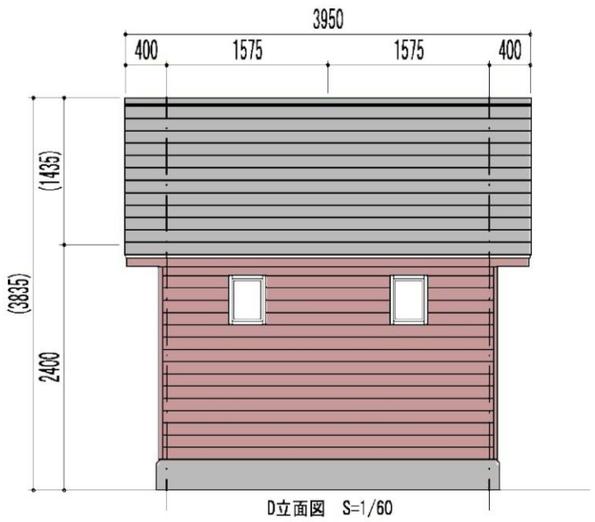
B立面図　S=1/60



断面図　S=1/60



C立面図　S=1/60



D立面図　S=1/60

名称	特　記　仕　様
形状．面積	4.2×3.15　H=3.84　13.23㎡
柱．壁	杉特等　マイトレックACQ　加圧注入処理　ステンブルーフ木材保護塗料仕上げ
床	土間コンクリート　金コテ押え　エポキシ塗料仕上げ
洗面バック	杉板 厚15mm貼
屋　根	コロニアル葺

第43図　⑥バイオトイレ兼避難所 構造図

５．案内板・説明板整備

（１）柞野・江畑道導入部案内板設置計画

① Ａ地区導入部は大川山を展望しながら見ることを考慮し、景観の障害とならない形状として台形とする。

② 設置位置は周囲の景観を損なわず、且つ、遺構を保全する箇所とする。

③ 本体は防腐処理を施した木造（自然色）とする。

④ 説明ボード下地の色は自然景観からの遊離を防ぐためベージュとする。

⑤ 概要は以下のとおりである。

台形	縦(m)	横(m)	高さ(m)	材質	色
本体	—	1.25	0.64	杉材	自然色
説明ボード	0.70	1.00	—	陶板焼き付け	ベージュ
基礎	1.50	1.20	0.50	コンクリート	—

（２）大川道導入部案内板設置計画

① Ｃ地区導入部は道沿いの雑木林が背景となるため全体図等の見易さを優先し形状は縦型とする。

② 設置位置は周囲の景観を損なわず、且つ、遺構を保全する箇所とする。

③ 本体は防腐処理を施した木造（自然色）とする。

④ 説明ボード下地の色は自然景観からの遊離を防ぐためベージュとする。

⑤　概要は以下のとおりである。

縦型	縦(m)	横(m)	高さ(m)	材質	色
本体	—	1.80	2.34	杉材	自然色
説明ボード	1.10	1.50	—	アルミニウムポリエチレン加工 厚さ 3mm	ベージュ
基礎	0.60	0.60	0.85	コンクリート	—

（３）説明板設置計画

①　各ゾーンに説明板を設置する。

②　遺構近くに設置するため見学に支障がなく、且つ、説明板を確認しながら見学ができる形状として低い台形とする。

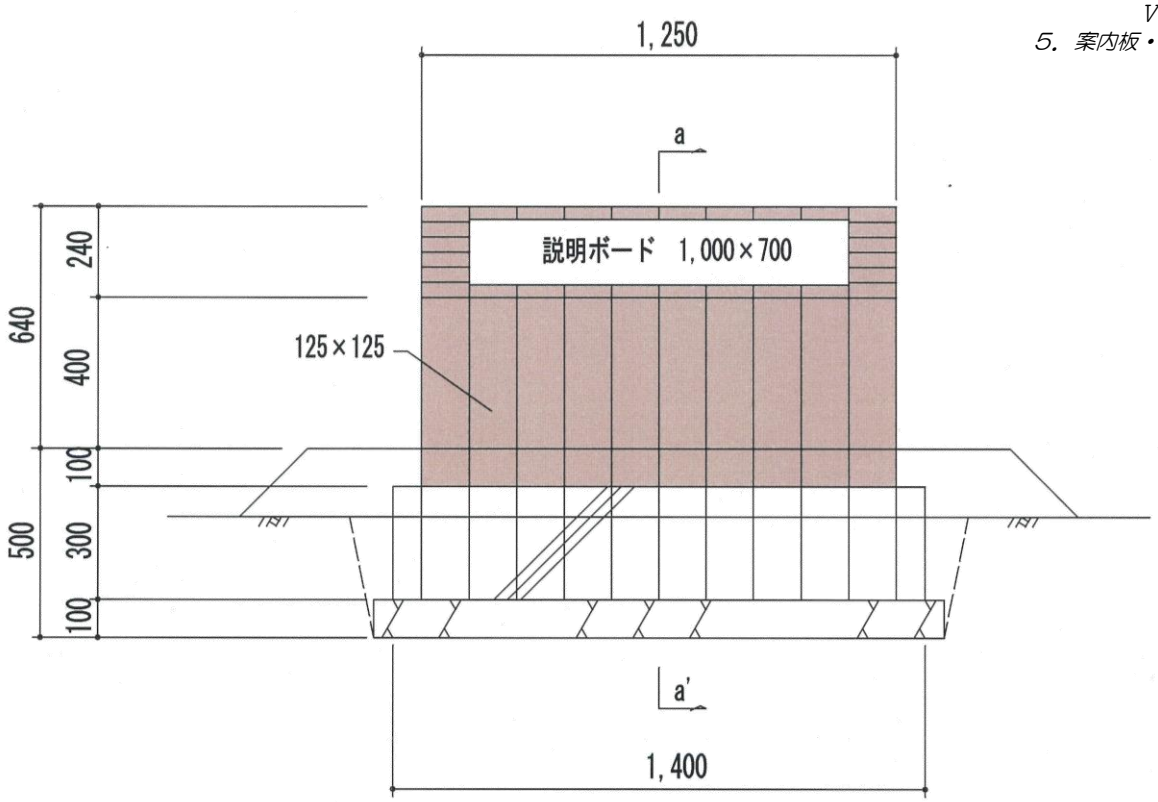
③　設置位置はゾーンの景観を損なわず、且つ、遺構を保全する箇所とする。

④　本体は防腐処理を施した木造（自然色）とする。

⑤　説明ボード下地の色は自然景観からの遊離を防ぐためベージュとする。

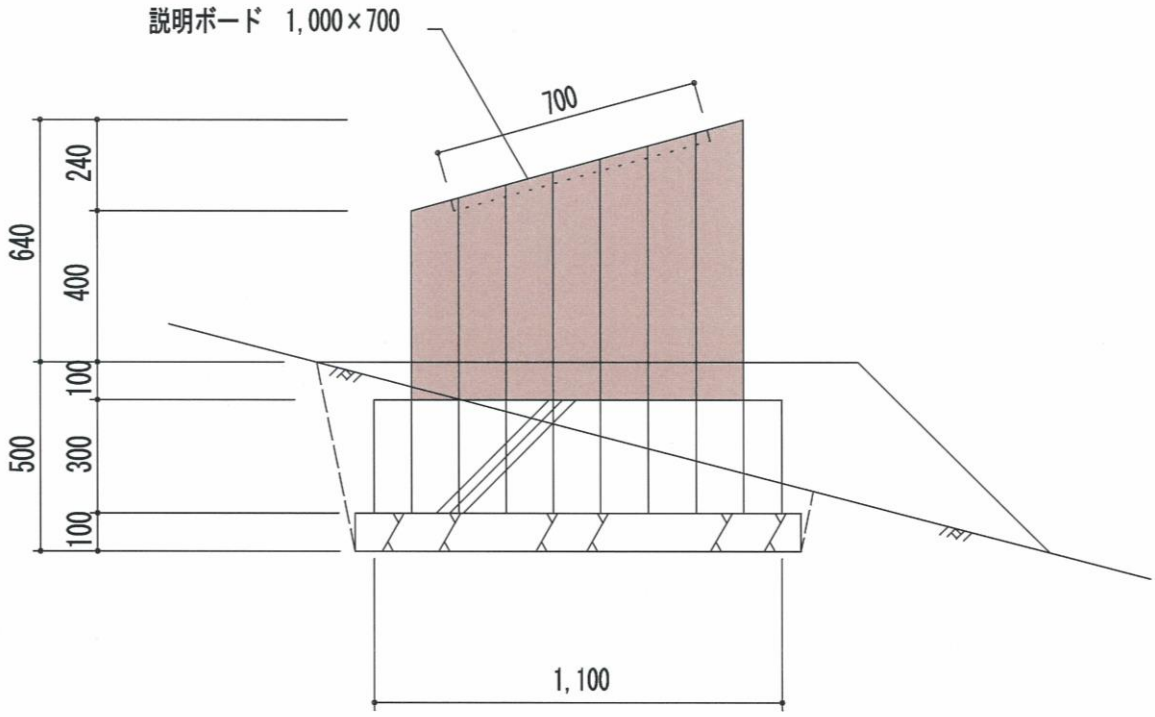
⑥　概要は以下のとおりである。

台形	縦(m)	横(m)	高さ(m)	材質	色
本体	—	1.0	0.64	杉材	自然色
説明ボード	0.55	0.80	—	陶板焼き付け	ベージュ
基礎	1.00	1.20	0.50	コンクリート	—



正面図 S=1/20

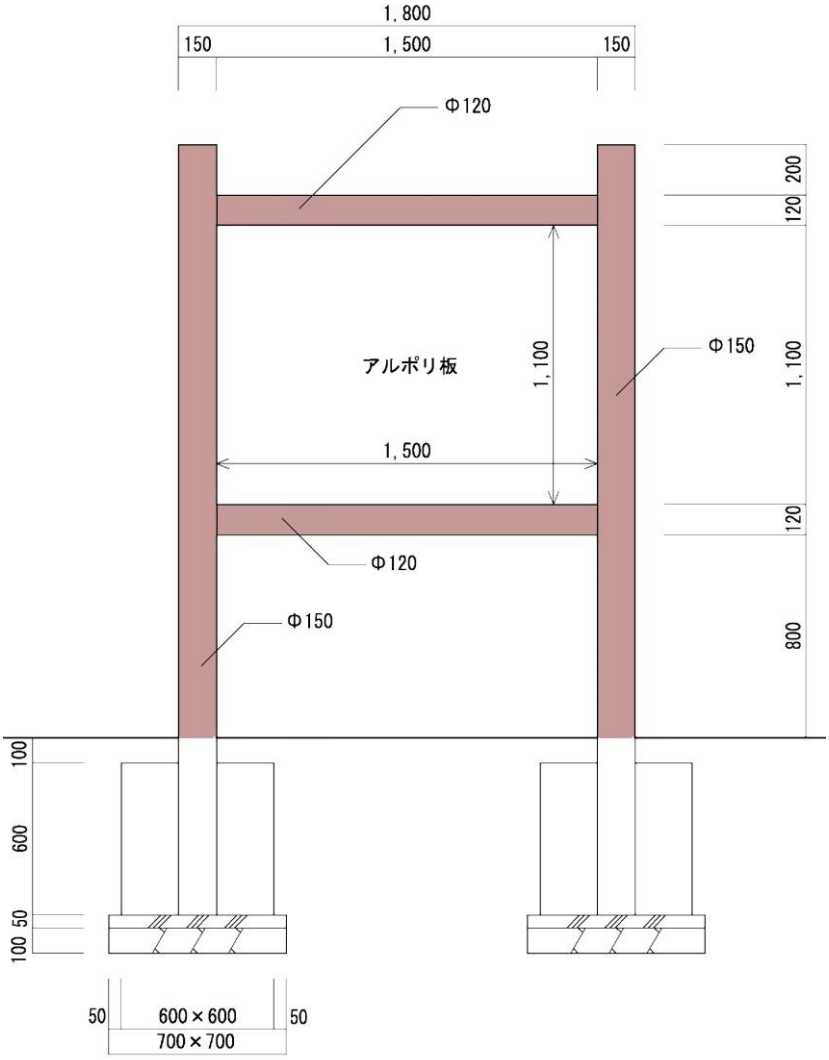
a－a' 断面



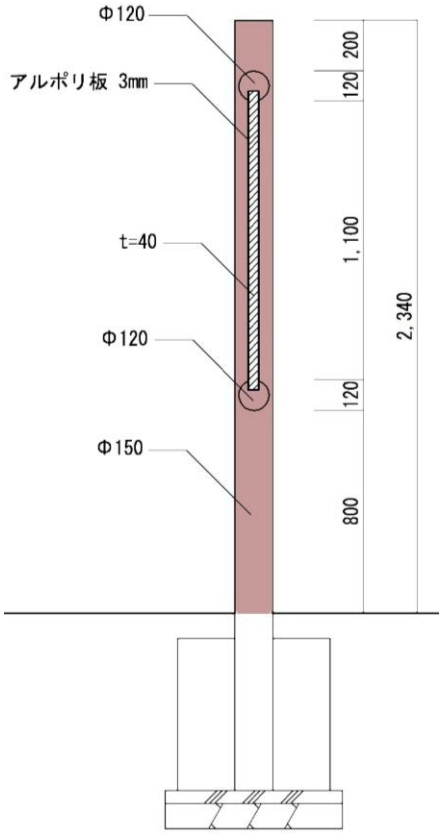
側面図 S=1/20

特記事項	
材　質	杉材
加　工	丸太材はロータリー加工とする。
	板材、角材はプレーナー加工とする。
加圧処理方法	JIS A 9002による。
木材防腐剤	マイトレックACQ（JIS K 1570該当）とする。
性能規格	JAS K4（吸収量5.2kg/m3以上）
表面仕上	木材保護塗料（ステンプルーフ）塗布

第44図　柞野・江畑道導入部 ⑦台形案内板 構造図



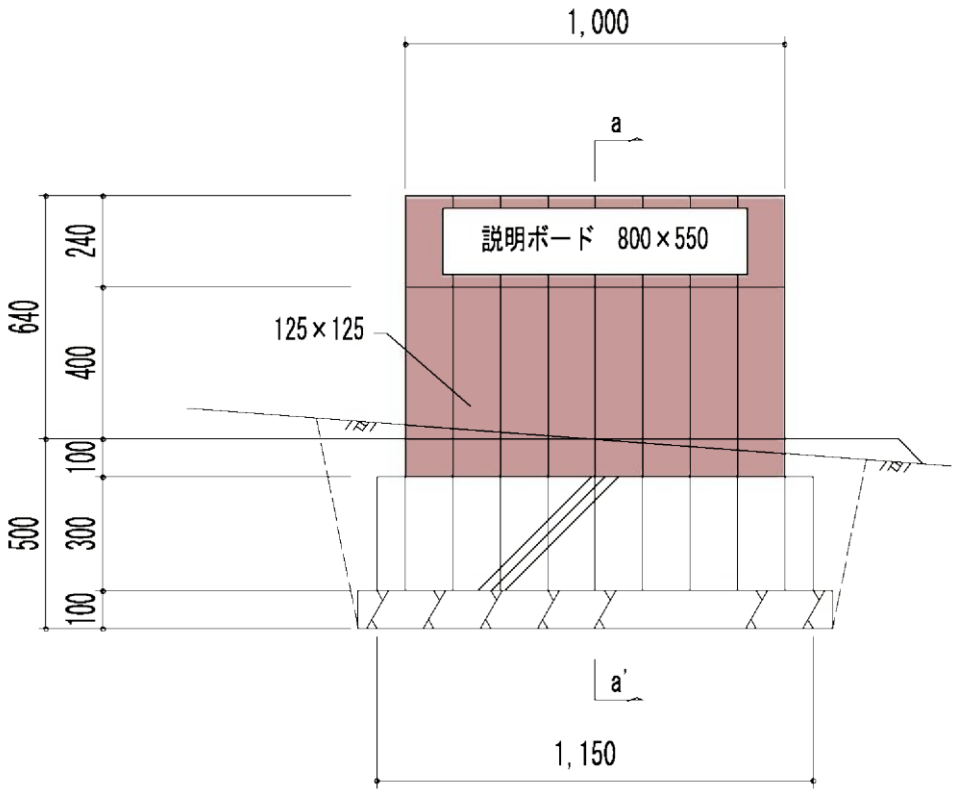
正面図 S=1：30



側面図 S=1：30

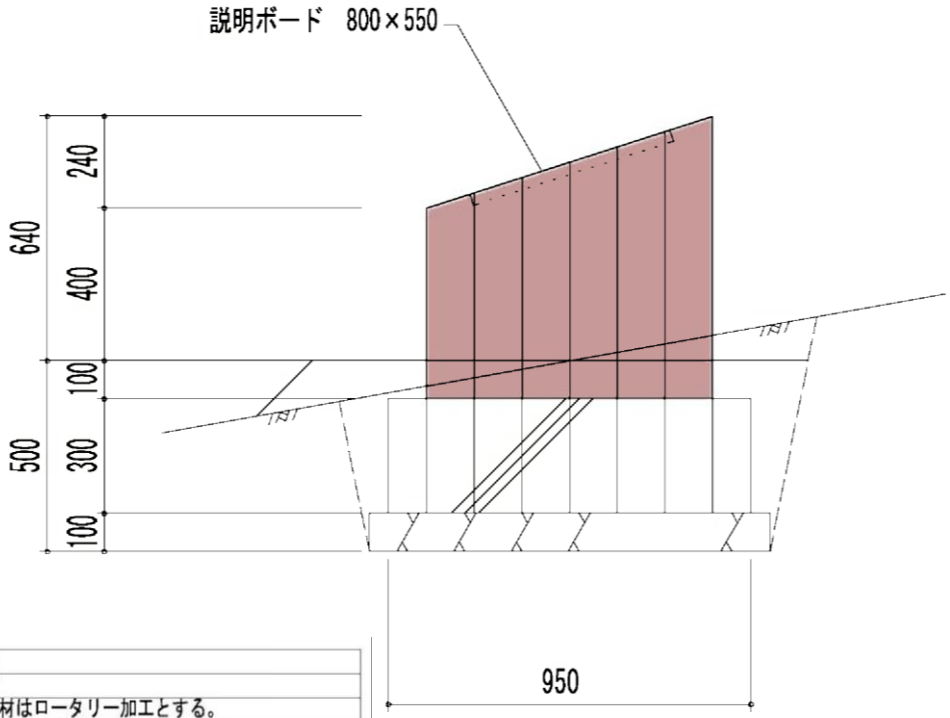
特 記 事 項	
材　　質	高知県産杉材（特等材）
加　　工	板材．角材はﾌﾟﾚｰﾅｰ加工 丸太材はﾛｰﾀﾘｰ加工
加圧処理方法	JIS A 9002による
木材防腐剤	ﾏｲﾄﾚｯｸACQ（JIS K 1570該当）
性能規格	JAS K4（吸収量5.2kg/m3以上）
防腐木材については１０年間の防腐保証を行う （社）日本公園施設業協会賠償責任制度による、 生産物賠償責任保険を適用する。	

第46図 大山道導入部 ②縦型案内板 構造図



正面図 S=1/20

a－a' 断面



特記事項	
材　質	杉材
加　工	丸太材はロータリー加工とする。 板材、角材はプレーナー加工とする。
加圧処理方法	JIS A 9002による。
木材防腐剤	マイトレックACQ（JIS K 1570該当）とする。
性能規格	JAS K4（吸収量5.2kg/m3以上）
表面仕上	木材保護塗料（ステンプルーフ）塗布

側面図 S=1/20

第46図　各ゾーン ⑦説明板 構造図

国指定史跡

中寺廃寺跡
Nakaderahaijiato

大川山より遠望

この地には平安時代に栄えた山寺がありました。その存在は地元の人々には伝承されていましたが、記された書物はなく、永らくまぼろしの山寺となっていました。

そこで調査したところ、高所で仏堂跡や塔跡などが見つかり、たくさんの珍しい遺物が出てきました。このことから、力のある大きな山寺であったことが分かりました。

山寺の跡は　中寺廃寺跡　として、平成20年3月28日、国の史跡に指定されました。

里から遠く離れた中寺廃寺跡は、人に荒らされることなく古代からの神秘的な雰囲気を今に伝えています。

In this place a prosperous mountain temple complex stood during the Heian Period (794-1185).
The temple's existence had long been part of local folklore but a lack of written evidence meant it was regarded as a legend.
However when an archaeological survey was undertaken, a Buddhist temple and tower complex were found along with many rare exotic artifacts. From these finds it became clear that this large temple had been of significant influence and power.
This mountain temple site, known as the "Nakadera Temple Ruins", was designated a National Historic Landmark on April 28th 2008. In its remote and undisturbed location, the Nakadera Temple Ruins evoke an ancient and enigmatic atmosphere to this day.

平安時代のたたずまい

全体図

いのり 祈ゾーン
Inori zone

中寺の始まり
8世紀後半～11世紀

割拝殿跡(西から)

僧房跡(北西から)

割拝殿跡と僧房跡があります。割拝殿跡からは荘厳にそびえる大川山が一望できます。

ほとけ 仏ゾーン
Hotoke zone

中寺の中心
9世紀～11世紀

仏堂跡(北東から)

塔跡(北西から)

仏堂跡、塔跡、大炊屋跡があります。仏堂と塔は計画的に配置されています。

ねがい 願ゾーン
Negai zone

中寺の民間信仰
10世紀前半～11世紀

石組

高い尾根に囲まれた静寂な空間から、石組が6基も見つかりました。

トイレ・待避所

*史跡内のトイレはここだけです。
*急な天候の変化等があった場合、一時避難ができます。

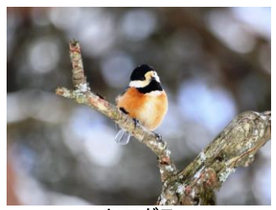
自然

大川山には県内では珍しい原生林が広がり、四季折々の自然模様が楽しめます。

ヤマツツジ 5月

ツチアケビ 7月

紅葉 11月


ヤマガラ

⚠自然と文化財を大切に

まんのう町教育委員会 中寺廃寺発掘調査室
〒766-0202 まんのう町中通875番地琴南公民館内
電話(0877)85-2221 FAX(0877)85-2826

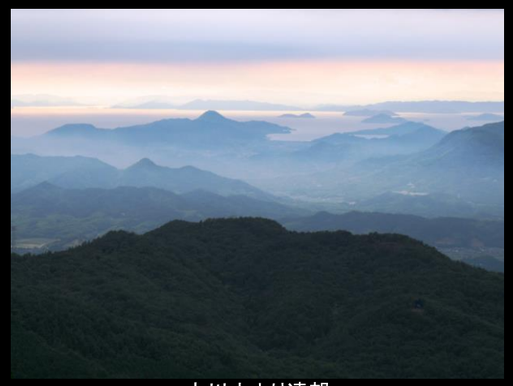
緊急連絡先

平日：中寺廃寺発掘調査室 (0877)85-2221
土・日・祝日：まんのう町役場 (0877)73-0100

第47図　柞野・江畑導入部 ⑦台形案内板 仕様

国指定史跡

中寺廃寺跡
Nakaderahaijiato


大川山より遠望

この地には平安時代に栄えた山寺がありました。その存在は地元の人々には伝承されていましたが、記された書物はなく、永らくまぼろしの山寺となっていました。

そこで調査したところ、高所で仏堂跡や塔跡などが見つかり、たくさんの珍しい遺物が出てきました。このことから、力のある大きな山寺であったことが分かりました。

山寺の跡は　中寺廃寺跡　として、平成20年3月28日、国の史跡に指定されました。

里から遠く離れた中寺廃寺跡は、人に荒らされることなく古代からの神秘的な雰囲気を今に伝えています。

……

In this place a prosperous mountain temple complex stood during the Heian Period (794-1185).
The temple's existence had long been part of local folklore but a lack of written evidence meant it was regarded as a legend.
However when an archaeological survey was undertaken, a Buddhist temple and tower complex were found along with many rare exotic artifacts. From these finds it became clear that this large temple had been of significant influence and power.
This mountain temple site, known as the "Nakadera Temple Ruins", was designated a National Historic Landmark on April 28th 2008.
In its remote and undisturbed location, the Nakadera Temple Ruins evoke an ancient and enigmatic atmosphere to this day.

いのり 祈ゾーン Inori zone
中寺の始まり
8世紀後半～11世紀

割拝殿跡(西から)

僧房跡(北西から)

平安時代のたたずまい

割拝殿跡と僧房跡があります。割拝殿跡からは荘厳にそびえる大川山が一望できます。

東屋
*中寺廃寺跡の中で最も眺望の良い地点です。香川県の平野部から大川山、中寺廃寺跡にかけて壮大な眺めが広がります。休憩所としてご利用ください。

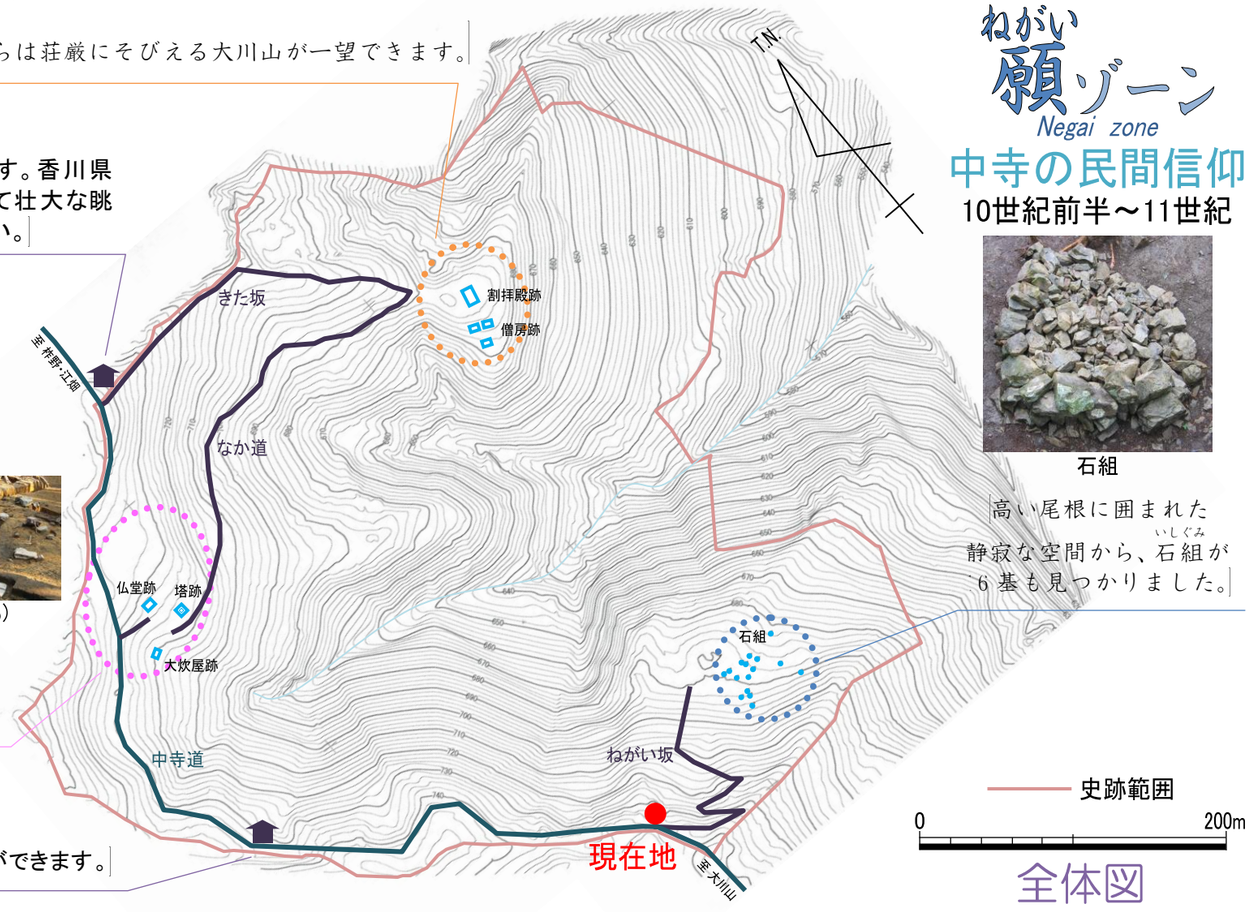
ほとけ 仏ゾーン Hotoke zone
中寺の中心
9世紀～11世紀

仏堂跡(北東から)

塔跡(北西から)

仏堂跡、塔跡、大炊屋跡があります。
仏堂と塔は計画的に配置されています。

トイレ・待避所
*史跡内のトイレはここだけです。
*急な天候の変化等があった場合、一時避難ができます。



全体図

ねがい 願ゾーン Negai zone
中寺の民間信仰
10世紀前半～11世紀

石組

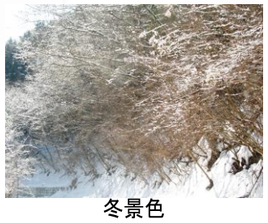
高い尾根に囲まれた静寂な空間から、石組が6基も見つかりました。

自然
大川山には県内では珍しい原生林が広がり、四季折々の自然模様が楽しめます。

ヤマザクラ 4月

タツナミソウ 6月

タマゴタケ 9月


冬景色

⚠自然と文化財を大切に

まんのう町教育委員会 中寺廃寺発掘調査室
〒766-0202 まんのう町中通875番地琴南公民館内
電話(0877)85-2221 FAX(0877)85-2826

緊急連絡先
平日：中寺廃寺発掘調査室 (0877)85-2221
土・日・祝日：まんのう町役場 (0877)73-0100

第48図　大山道導入部 ②縦型案内板 仕様

国指定史跡

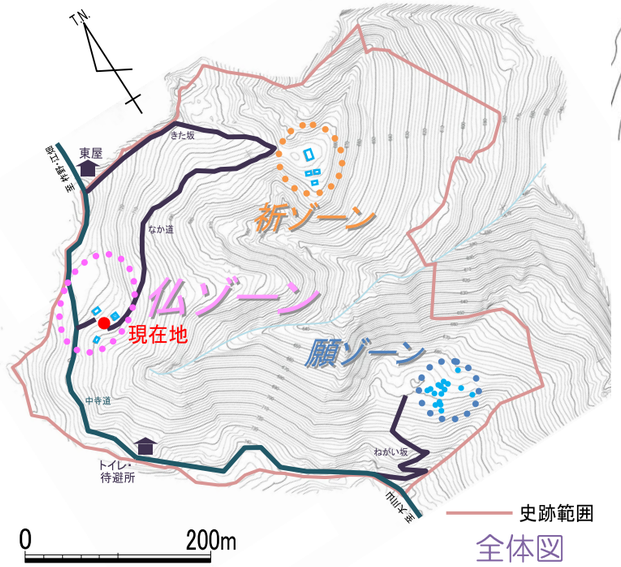
中寺廃寺跡

Nakaderahaijiato

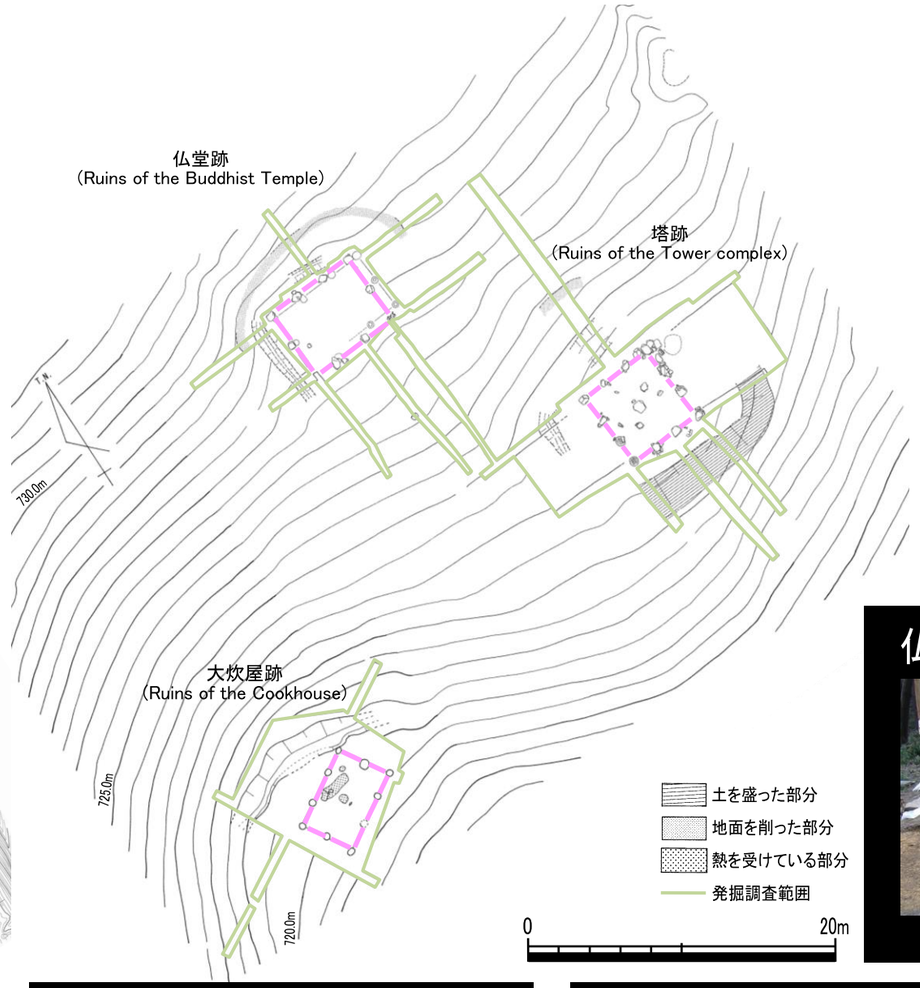
ほとけ Hotoke zone 仏ゾーン

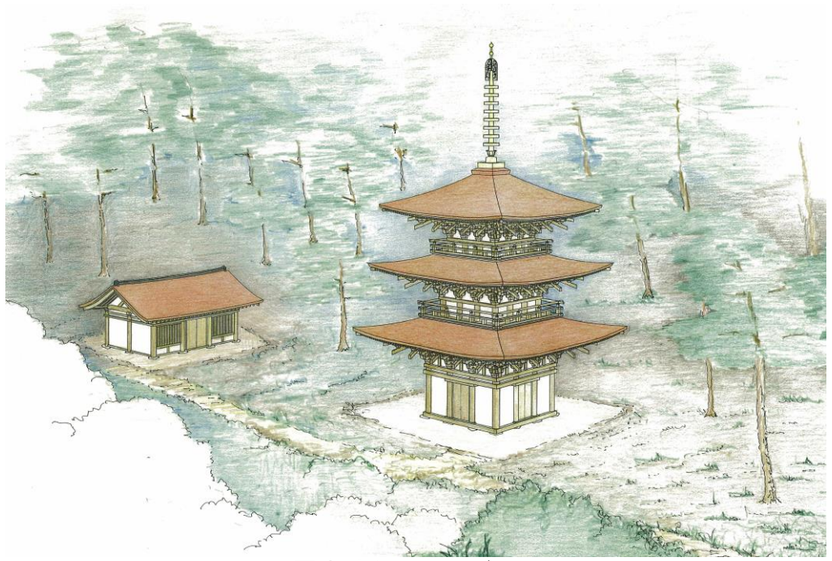
中寺の中心

9世紀～11世紀



全体図





平安時代のたたずまい

仏堂跡は仏堂跡、塔跡、大炊屋跡があります。

仏堂と塔は正確に南向きに建てられています。また、塔は仏堂の正面をさけて建てられています。仏堂と塔の配置が讃岐国分寺と似ていることから、僧侶が修行のために往来するような関係にあったものと思われます。

仏ゾーンは計画的に建物が配置された、中寺の中心的な地域です。

仏堂跡

発掘作業の様子 東から

仏堂跡は同じ位置で掘立柱建物から礎石建物に建てかえられています。

仏堂跡の手前からは灯明皿、奥からは鉄釘や金具が出土しました。

大炊屋跡

北西から

大炊屋跡からは食器や調理道具が出てきました。建物跡北側の地面が赤く焼けていて竈の跡がありました。仏のお供えを調理した建物です。

塔跡

発掘作業の様子 北から

塔は頑丈に固められた土の上に、土台となる石を置いて建てられています。中心の石の下からは、塔が建てられる際に納められた地鎮の壺などがほぼ完全な形で出てきました。

地鎮の壺が埋められていた様子 東から

まんのう町教育委員会
中寺廃寺発掘調査室 (0877)85-2221
土・日・祝日の緊急連絡先
まんのう町役場 (0877)73-0100

第49図　仏ゾーン 説明板 仕様

国指定史跡

中寺廃寺跡
Nakaderahaijiato

いのり 祈ゾーン
Inori zone

中寺の始まり
8世紀後半～11世紀

割拝殿跡(東から)

僧房跡 発掘作業の様子 北西から

尾根の上には割拝殿跡がありました。割拝殿は中央が通路になっていて左右に床がある構造です。南斜面を段状に造成した平坦地には僧房跡がありました。僧房跡は何度か建て替えが行われています。

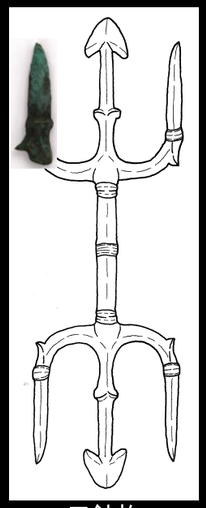
全体図

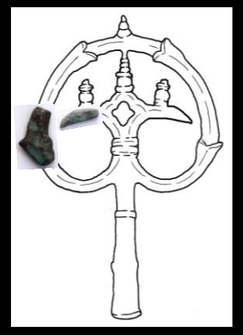
平安時代のたたずまい

大川山がよく見えます

祈ゾーンは東に大川山を一望できます。中寺廃寺の中で最も早い8世紀後半(奈良時代後半)から大川山信仰に根ざす活動が行われていたと考えられます。時代を経るにつれ修行と生活の場としての機能が加わっていったと考えられます。

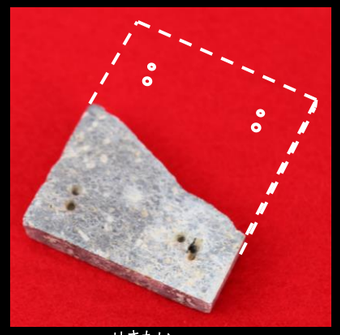
大川山との関係も含め、中寺の成立と展開を考える上でとても重要なゾーンです。


三鈷杵


錫杖

西播磨産須恵器多口瓶

軒丸瓦


石帯(裏面)

祈ゾーンではたくさんの珍しい遺物が出てきました。中寺はこれらの貴重品を所有することができる大きな寺院だったと考えられます。
また、三鈷杵、錫杖は古密教の法具で中寺の始まり頃の遺物です。

まんのう町教育委員会
中寺廃寺発掘調査室 (0877)85-2221
土・日・祝日の緊急連絡先
まんのう町役場 (0877)73-0100

第50図 祈ゾーン 説明板 仕様

国指定史跡

中寺廃寺跡

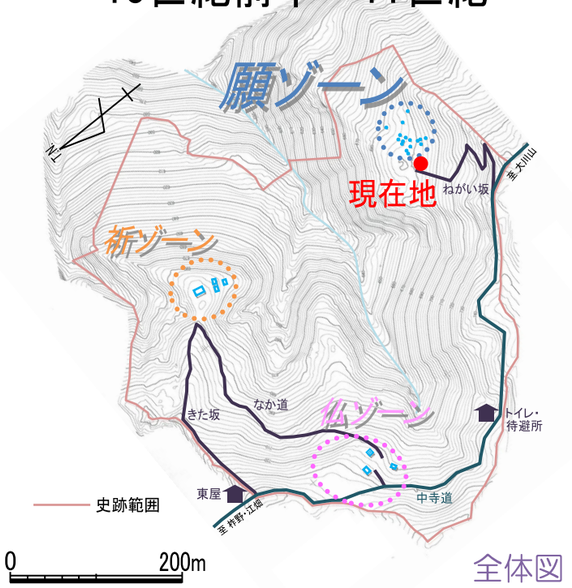
Nakaderahaijiato

願（ねがい）ゾーン

Negai zone

中寺の民間信仰

10世紀前半～11世紀



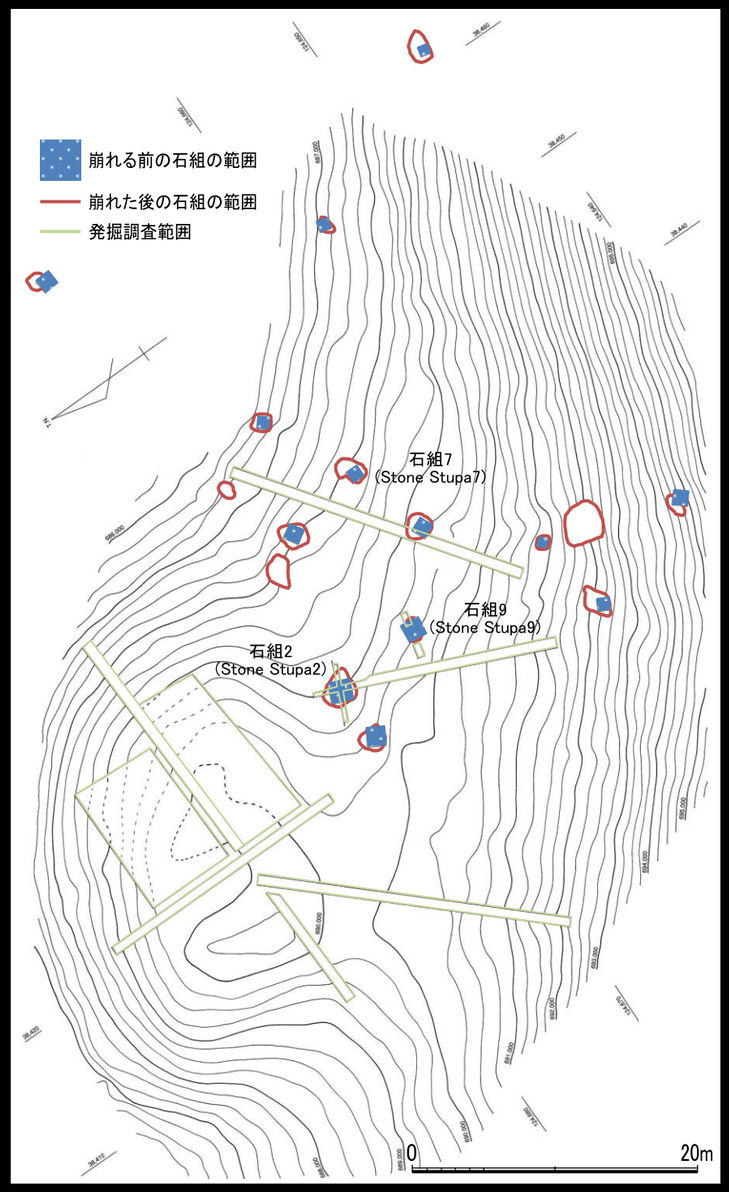
全体図

願ゾーンは、谷をはさんで寺院の各建物を見渡せる位置にあたります。仏教を信仰する一般の人々が、年中行事として石組（いしぐみ）を造った地域です。

尾根に囲まれた東西 40m、南北 35m の区域に、平安時代以降に造られた石組 16基（き）がありました。

この辺りは、古来より人の立ち入りが少なかったと思われ、平安時代に近い姿で現在まで保たれました。

作業の様子



石組はお墓のような外観ですが、石組の下からは人を埋葬したような跡は見つかっていません。

中寺廃寺跡とよく似た性質を持つ古代山林寺院跡　池辺寺跡（ちへんじあと）（熊本県熊本市）でも石塔が確認されています。また、平安時代に記された史料に、石を積んで石塔を造る行事が一般の人々に広がっていたことが記されています。

中寺廃寺跡の石組も、池辺寺の石塔や史料に出てくる石塔と同じようなものと考えられますが違いも多くあり、まだまだ謎が残ります。

内部 東から

南上から

南西から

石組は一辺が約 1.2～1.5m の四角い平面形です。外側に約 40～50cm の角ばった石を積み上げ、内側に 5～15cm の小石を詰めて造られています。

石組2

南東から

北東上から

内部 東から

石組9

まんのう町教育委員会
中寺廃寺発掘調査室（0877)85-2221
土・日・祝日の緊急連絡先
まんのう町役場（0877)73-0100

第51図 願ゾーン 説明板 仕様

史跡中寺廃寺跡
保存整備実施計画
まんのう町内遺跡保存整備計画　第２集

平成 23 年３月 31 日　発行

編集・発行　まんのう町教育委員会　中寺廃寺発掘調査室
〒766-0202
香川県仲多度郡まんのう町中通 875 番地　琴南公民館内
電話　(0877)85-2221
印　　刷　株式会社 弘栄社